

小学校外国語活動研究部

I 研究主題

積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成を目指して
—学級担任主導による「外国語活動」授業を通して—

II 研究主題設定の理由

平成20年3月に改訂された学習指導要領には、外国語活動の目標について「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り…（中略）。」と記されている。中でも、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成は温かい人間関係づくりや他教科等における言語能力の育成にも大きな影響を与え、児童の外国語活動への関心・意欲を高めるためには不可欠である。

しかし、高学年を担当する教員の声を聞くと、授業をすすめるうえで、多くの不安を抱えていることがわかる。中でも「英語を発話することや1時間の授業計画を作成することについて、方法がわからずに困る。」等授業をすすめるうえでの課題を抱えている教員が多い。

これまで学習指導要領全面実施に向けて、各小学校でも年間指導計画の作成や教材研究等授業を展開するための準備がすすめられてきた。今年度からAETの派遣回数が隔週1回となるが、その代替りとして、小学校5、6年生の外国語活動のすべての授業において、市より、小学校外国語活動支援員（※以下 支援員）が派遣されることになった。AETに比べ、コミュニケーションが取りやすく、授業での活用しやすさもあり、支援員との連携を円滑にしていくことが重要である。そして、学習者のモデルである学級担任が支援員とともに英語を楽しむ姿を見せることは、児童の学習意欲を高め、コミュニケーションを図ろうとする態度をより一層育成すると考える。そこで、学級担任と支援員の連携を円滑にするための必要な条件を明らかにすることが外国語活動の授業の充実につながると考える。

以上の理由から、研究主題を「積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成を目指して」とし、副題を「担任主導による『外国語活動』授業を通して」として実践的な研究を試みた。

III 研究の内容（概要）

1 各学校の実態把握

- (1) 高学年を担当する教師・支援員へのアンケート調査（1回目）
- (2) 各学校における外国語活動の年間指導計画・教材等の情報交換

2 仮説の設定

(1) 教師の仮説

「支援員との連携を円滑することで、学級担任の抱える課題を解決し、学級担任主導による外国語活動の授業が展開しやすくなるだろう。」

(2) 児童の仮説

「学級担任と支援員が連携を図り、児童が話をしたくなる、話を聞きたくなる場を設定すれば、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の意欲が高まるだろう。」

- 3 検証授業準備：単元計画作成・指導案検討・教具作成・教材研究（DVD視聴）
- 4 検証授業（外国語活動支援員と学級担任のTT／学級担任のSolo）
映像を用いた授業リフレクション
- 5 低・中学年における英語活動・中学校英語科（1年生）の授業見学
- 6 研究のまとめと課題の検討（2回目のアンケート調査）

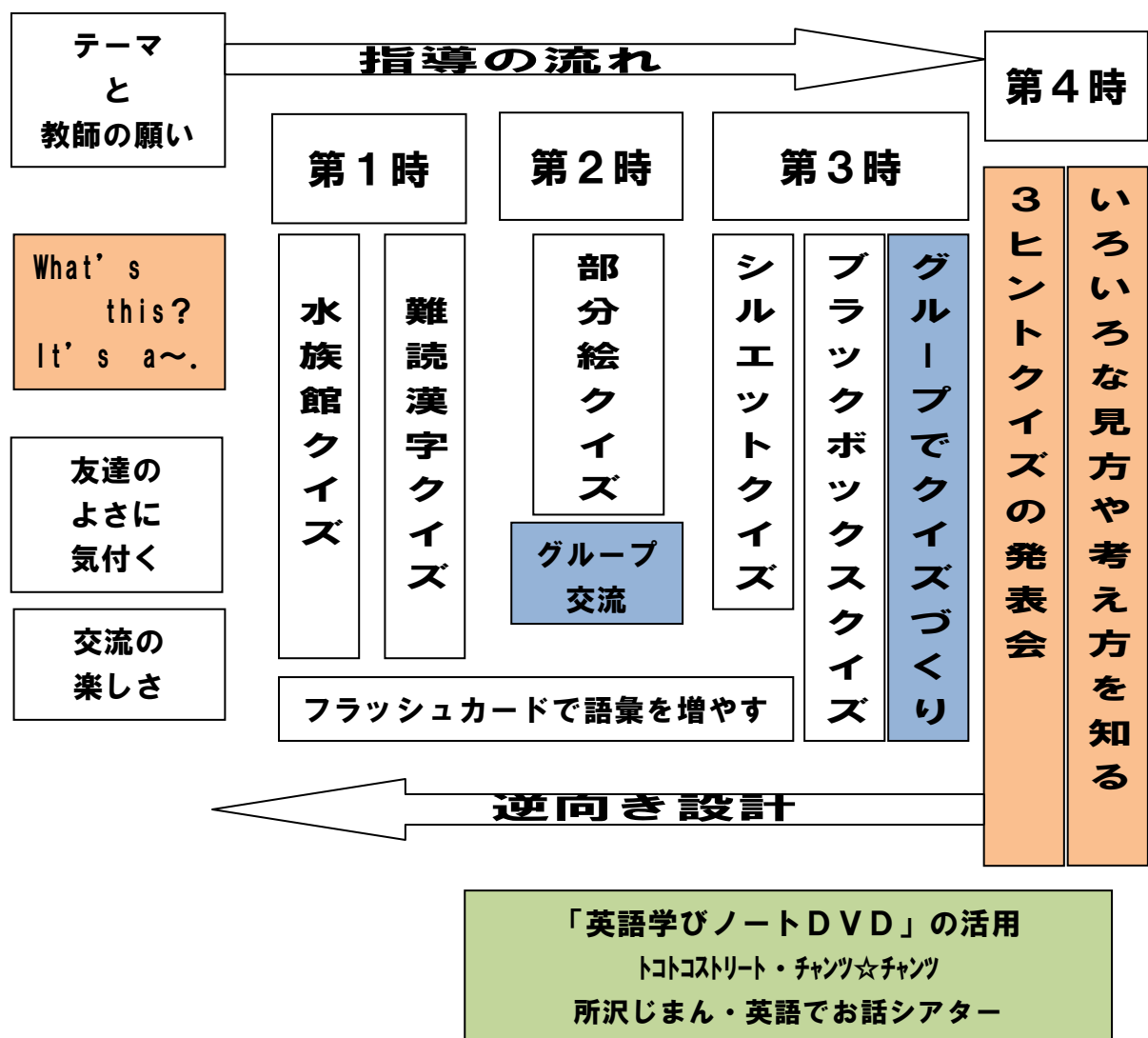
内容3 検証授業の準備について（補足）

(1) 「逆向き設計」の単元計画

まず、はじめに、1単元（ユニット）の最後に行う活動を何にするかを決めそこから逆算してどの段階でどのような活動を行えばよいか、どのような語彙や表現に慣れ親しんでおけばよいかを考えるのが「逆向き設計」の考え方である。

本単元では、4／4時の活動を「グループでつくった3ヒントクイズを出し合おう」としたため、前時でグループごとにクイズをつくる時間を設けたが、その前段階でいろいろな種類のクイズを実際に体験させ、“What’s this?”という表現を繰り返し用いることで問題を尋ねたり、問題に答えたりする楽しさを十分に味わわせることが必要であると考えた。

いろいろなクイズを体験しながら、友達のアイディアのおもしろさや考え方のよさに気付くことも本単元を学習するうえでの学級担任の願いである。



IV 実践例

1 検証授業① (『英語ノート1』Lesson7「クイズ大会をしよう」)の指導案

第5学年2組 外国語活動 活動案

平成23年11月1日(火) 第5校時

男子16名 女子15名 計31名

授業者: 渡邊 文絵

支援員: 中川 由果

1 題材名 「クイズ大会をしよう」

2 題材設定の理由

(1) 児童観

本学級の児童は男女が話し合い協力して活動することができている。配慮を要する児童に対しても優しく接し、関わろうとする児童も多い。自分のやるべきことをきちんとこなし何事にも一生懸命に励む児童がいる反面、まだ自己中心的で学習に対していいかげんだったり、協調して行動できなかつたりする児童もいる。

4月から始まった「外国語活動」では英語を習っていたり、得意だつたりする児童はいきいきと発言することができるが、「英語は分からない」とまだ積極的に活動に参加できない児童も多い。たくさんの英語にふれ、英語を使ったコミュニケーションのやりとりを通して自信をもって活動できるようにしていきたい。

(2) 教材観

本単元では、**What's this?**を自然な形で使う場面として工夫した「部分絵クイズ」を出し合う活動を取り上げた。この表現は聞きなれてはいるもののまだ発話したことがない表現の1つである。普段の生活の中でいろいろな疑問をもつように、児童自らが「これはなんだろう」と好奇心を持って **What's this?**を使う機会としたい。

(3) 指導観

「部分絵クイズ」をすることによって、必然性をもって **What's this?**の表現に楽しみながら慣れさせたい。また、本時で行うこれらのクイズは本単元の最後の時間にクイズ大会をするときに児童が行うものであるため、そのときに自分たちで進められるように活動の手順をおさえておく。既習内容である **Do you like~?**や **Do you have~?**などの言い方を繰り返し質問することによって、さらに一歩進んだコミュニケーションを体験させたい。

また、担任の進める外国語活動では支援員との協力が欠かせない。打ち合わせは十分にできないのが現状だが、『所沢学びノートDVD』の指導案をもとに、お互いのノウハウを生かして活動を進行している。英語を発する場面では積極的に支援員に出てきてもらっている。DVDやコンピューター機器の事前準備、また活動中の操作は支援員に任せ、担任は活動進行に集中できるようにしている。今後も支援員と一緒に活動を展開していきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 英語にも日本語の二字熟語と同じような言葉があることを知る。

【言語や文化に関する気づき】

(2) 積極的に相手にこれは何かと質問したり、答えたりする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(3) 英語を使ってクイズ大会をする。

【外国語への慣れ親しみ】

4 単元の指導計画（4時間扱い）

	活動内容	活動のねらい	使用表現・語い	指導上の留意点
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ●水族館の絵を見ながら、海の生き物や文具の言い方を練習する。 ●「これは何ですか」と尋ねる言い方と答え方を知る。 ●海の生き物や虫への漢字を使った漢字クイズをする。 ●英語と漢字の熟語を比べて、気付いたことを発表する。 	英語と日本語との違いを通して、漢字の成り立ちのおもしろさに気付くとともに ”What’s this?” のクイズの尋ね方や答え方を知る。	What’s this? It’s a pencil. Pencil, fish, ruler Eraser, starfish, Lobster, jellyfish, cap, shoes, octopus ,book, ,pencilcase seal, dolphin, sea, snake, rainbow, butterfly, mosquito	水族館の絵を見ながら、英語で言える言葉や知っている外来語を挙げさせ、新しい活動への意欲づけを図る。 「これは何ですか」の質問に対して答える言い方をしっかり理解できるように、はっきり発話させる。 英語と漢字の熟語を比較して、似ている点や関連がある点などに気づかせたい。
第2時・本時	<ul style="list-style-type: none"> ●「英語学びノートDVD(トコトコストーリー)」を視聴する。 ●学級担任と児童で大判絵カードを使った「部分絵クイズ」をする。 ●児童どうしで、ミニ絵カードを使った「部分絵クイズ」をする。 	「これは何ですか」と尋ねる言い方や答える言い方に慣れる。	What’s this? It’s a pencil. pencil, fish ruler eraser, starfish, lobster, jellyfish, cap, sho, octopus, book, pencil, case	「英語学びノートDVD」の視聴では、映像を途中で止めて質問の答えを予想させながら視聴させるように指示する。 映像に同じ質問が繰り返し出てくることに気づかせ、映像の後に続いて言わせることにより、尋ねる言い方に慣れ親しませる。 手作りボードを使って活動への興味を高めるとともに、

	<ul style="list-style-type: none"> ●「英語学びノートDVD(ところざわじまん)」を視聴する。 			<p>児童の役割を解答役から質問役に広げるなどして、発話の機会を増やす。</p>
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ●「英語学びノートDVD(チャンツ☆チャンツ)」を視聴する。 ●学級担任と児童で大判絵カードを使ったブラックボックスクイズ・シルエットクイズをする。 ●クイズの見本を見ながら、「3ヒントクイズ」の作り方を知る。 ●グループで「3ヒントクイズ」の問題を考える。 	<p>「これは何ですか」という言い方を用いたクイズの作り方を知りグループでクイズを考える。</p>	<p>What's this ? It's a pencil.</p> <p>pencil , fish , ruler, eraser, starfish, lobster, jellyfish, cap , shoe , octopus, book, pencil case</p>	<p>DVD を一度見た後でチャンツのリズムで単語を繰り返し、「これは何ですか」の尋ね方や答え方に慣れ親しませる。</p> <p>ヒントによって、クイズの楽しみ方が左右されることをDemoの提示によって伝え、グループでヒントの組み合わせ方や出す順序を工夫させる。</p>
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ●グループごとに考えた「3ヒントクイズ」を出しあう。 ●グループごとに「シルエットクイズ」に取り組み、「答え(見方)の多様性」について考える。 ●「英語学びノートDVD(英語でおはなシアター)」を視聴する。 	<p>グループで考えたクイズを紹介しあい、クイズのやりとりをする楽しさやいろいろな答えを出しあうおもしろさに気づく。</p>	<p>What's this ? It's a pencil.</p> <p>pencil , fish , ruler, eraser, starfish, lobster, jellyfish, cap , shoe , octopus, book, pencil case,</p>	<p>クイズの出題後に、それぞれが考えたヒントについて話し合い出題の工夫やよさに気づかせる。</p> <p>一問多答のおもしろさについて実際に体験することにより、「違うからこそ訊いてみたい」という気持ちが高まるようにしたい。</p> <p>最後に「英語学びノートDVD」を視聴することで「聞き取れた」「言えるようになった」という成就感や達成感を味わわせるようにしたい。</p>

5 本時の学習指導

(1) 目標 What's this? という質問を理解し、答える。

(2) 評価規準 What's this? の質問に対して、積極的に答え質問することができたか。

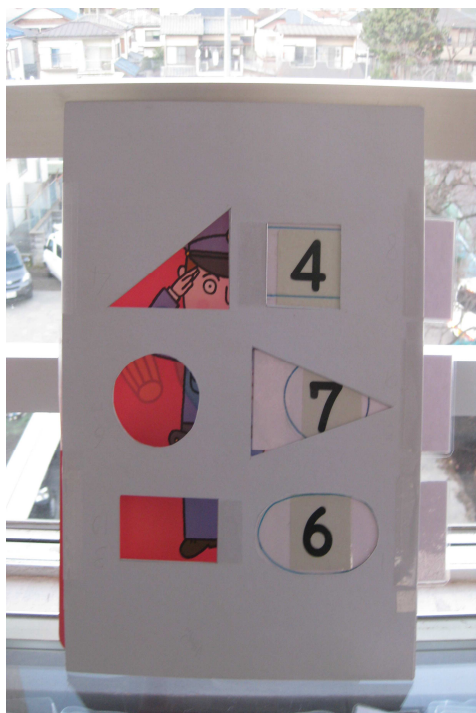
【コミュニケーションへの関心意欲態度】【外国語への慣れ親しみ】(行動観察)

(3) 展開

過程	☆児童の活動	◎担任/○支援員の活動	指導上の留意点	準備
<p>Greeting (3) あいさつ</p>	<p>◎Please stand up. ○Hello everyone. How are you? ☆ I'm fine, thank you. And you? ○ I'm fine ! ◎となりの人の今の気持ちを聞いてみよう。</p>		<p>明るくあいさつをはじめる。</p>	
<p>Activity1 (3) Activity2 (15) Activity3 (10)</p>	<p>1 DVD 視聴 Lesson7 『トコトコストリート』 ◎トコトコとデイビットは何を話しているのかな? ◎デイビットはトコトコに何て聞いているのかな? 2 部分絵クイズ 中に隠されているものを当てよう</p> <div data-bbox="363 1048 708 1223"> </div> <p>①色で隠されているものを開けながら、中の絵を推測する。</p> <div data-bbox="363 1279 708 1453"> </div> <p>②数で隠されているものを開け、中の絵を推測する。</p> <div data-bbox="363 1509 708 1684"> </div> <p>③紙を重ねてずし、中の絵を推測する。</p> <p>3 部分絵クイズ 友達と中に隠されているものを当てっこしよう ①デモンストレーションを行う。 ・じゃんけんで AB を決める。 A : Hello, What's this? B: It's ~ ・答えが分かったらさらに</p>	<p>◎担任/○支援員の活動</p>	<p>質問の答えを予想しながら視聴する。繰り返し出した質問の言い方を理解する。 What's this? を、たくさん聞かせる。既習の言い方も使う。答えが出た時に Do you like ~? Do you have ~? と質問して既習の言い方で深める。 次の活動につながるようにする。</p>	<p>・DVD ・クイズ用パネル 児童人数 × 2 の絵カード 既習の言い方 (動物・スポーツ・くだもの)</p>

<p>Activity4 5</p>	<p>A: Do you like~? Do you have~? と質問する。 ・交代して次の相手を探す。</p> <p>4 DVD 視聴 Lesson7 『ところざわじまん』</p>	<p>What's this?で 止めて答えを 考えさせる。</p>	
<p>closing</p>	<p>That's all for today. 「先生とさよならのあいさつをしましょう。」 Good bye / see you next time.</p>	<p>次時の意欲に つながるよう、 児童のよかつ た点を評価す る。</p>	

<写真資料>



クイズ用手作りボード
(北中小学校 及川先生 作成)



支援員と担任で問題を提示 “what's this?”



活動の様子

2 検証授業② (『英語ノート2』を Lesson 7 「クイズ大会をしよう」) の授業メモ

(授業者 三ヶ島小学校 石井広昭)

平成23年 11月18日(金) 6時間目 6年2組

○ 「小中連携」の視点・・・「英語学びノートDVDの活用」を主眼に置いて

○ 既習事項を生かした自己表現を増やして

○ 『英語ノート』の学習内容を発展的に取り上げて

<本時のねらい>

・英語の音声やリズムに興味をもって聞こうとする。

・既習事項 (I can~. / I can't~. / I like~. / What's this?) を使って、自分自身のことについて積極的に友達と伝えあう。

< 1時間の流れ (Today's Schedule) > *太字部分は、通常授業の流れの項目

1 Greeting

2 Today's check (weather/month/day of week)

3 Points for good communication (Repeat after HRT.)

① Eye Contact ② Good Listener ③ Loud & clear Voice

4 Phonics (「英語学びノートDVD」の活用)

・ “B” sound and “P” sound ・ “S” sound and “Z” sound

5 Let's Chant (「英語学びノートDVD」の活用)

・ 英語ノート1・Lesson4 (I like~.) Lesson7 (“What's this?”)

・ 英語ノート2・Lesson4 (Can you~?)

6 Let's Play

“Can you do this? / Can you read?” (HRTが質問→児童が答える。)

①指でスナップ ②目をつぶって片足立ち30秒 ③早口言葉 ④難読漢字

7 Activity・1 (具体物の提示) ①箱の中身 ②ペットボトルの中身

“What's this?” “Can you ~?” (HRTが質問→児童が答える。)

* Words

see, hear, smell, taste, touch, feel, eyes, ears, nose, mouth, hands, skin, box, bottle, case, bag, eraser, vinegar, salt, cup, ball, scissors

* 「(体の部分) を使って、(動作) をすることができる。」→五感についての確認

8 Activity・2 (ワークシート配布)

“I like to~. (絵カードを使って、HRTが DEMO をする。)

* 「~することが好きな自分を紹介しよう。」・・・書く活動

* 列ごとに同じ文型で発表する→友達との違い・自分の好みについて簡単に触れる

9 feedback (ワークシートの下段に授業の感想やふり返りを記入する。)

10 Greeting

< 参観者 (中学校の先生方) からの感想 >

・ 具体物や直接体験を通じて、一つの単語をじっくりと理解させているのがよい。

・ 国語 (難読漢字) や理科 (水溶液を扱う時の約束事) 等他教科との関わりもあった。

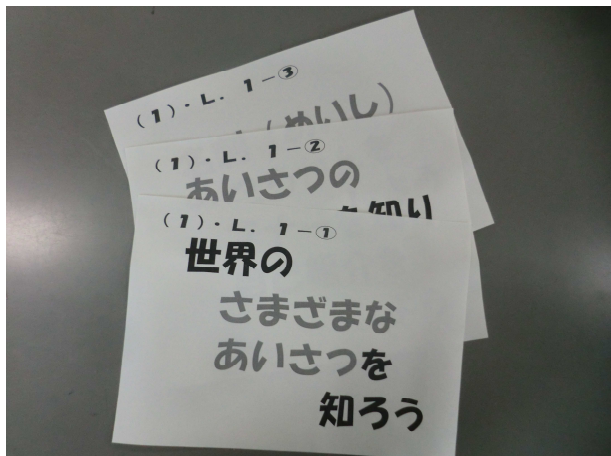
・ 座席をコの字型にして、互いの顔が見えるようにしていたので雰囲気よかった。

<参考> 板書について

外国語活動の授業における板書の役割として次の3つが挙げられる。

- ① 本時のめあてを提示し、振り返りの場面で確認する。
- ② 1時間の授業でやることがわかるように、活動の内容や順序を提示する。
- ③ 活動において児童が使用する基本的表現や語彙を提示する。

<1時間ごとの「めあてカード」>



<「活動の流れ」を示す掲示物>



3 評価についての検討

評価の観点については、学習指導要領にある「外国語活動の目標」をもとにして

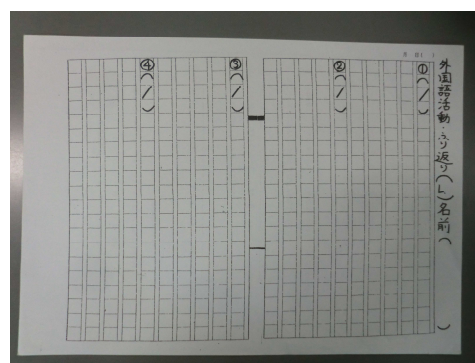
- ① 言語や文化についての体験的な理解
- ② 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度
- ③ 外国語の音声や表現への慣れ親しみ

の3つを観点として行った。

1単元の中で3つの項目すべてを評価しない場合もあるため、1年間を見通して3つの項目がバランスよく評価できるように年間指導計画を組み立てる必要がある。

1時間の授業においては、児童の活動中で行う学級担任の行動観察が主な評価方法となる。行動観察を行う際には、以下の点に留意して行った。

- ① その時間に評価しようとする児童を数人決め、単元全体の中で学級すべての児童を評価できるよう、計画的に行う。
- ② A規準（十分達している）の児童を評価する際には他の児童の前でどこがよいのか具体的に説明するとともに、話し方や聞き方について他の児童が真似できるように「よい見本（ロールモデル）」として提示する。
- ③ C規準（達していない）の児童を評価する際には、活動の中で学級担任と一緒に練習したり、後に続けて言ったりする機会を設け、活動に参加しようという意欲を高められるように個別の支援を行う。



<単元を通じて行う自己評価の例>

1枚の原稿用紙を4つに分け、毎時間の自己評価をする。同じ紙に書き足していくため、前の時間の記録を見ることができ、自分のがんばりやできるようになったことを確認しやすい。

4 アンケートの集計結果から（2回目・12月実施 対象：研究員のいる小学校5校）

(1) 学級担任の声（抜粋）

- ・1時間ごとの指導プラン作成やしっかりした教材準備をしていただき、助かります。
- ・子どもは、楽しく生き生きと授業ができている。きれいな発音に接することもできた。
- ・英語が不得手な人間にとって、授業中教室に英語だけでなく、日本語もできる支援員の方がいることは、とても心強い。AETとの間に入ってもらえるのも、ありがたい。
- ・支援員さんが持っている（英語学びノートDVDの）指導計画に沿って進めてくれた。
- ・打ち合わせや教材研究の時間がとれず、支援員さんにかなり任せてしまっている。
- ・支援員さんがいるので、学級担任の役割を無理に増やさなくてもよいのではないか。

(2) 外国語活動支援員の声（抜粋）

- ・毎回必ず全員そろって打ち合わせの時間をもっていることがよかった。
- ・授業では、担任の先生は司会進行となり、英語を使う活動は支援員やAETがリードするという役割分担が理想的な形である。
- ・学級担任の先生が、授業プランを作成してこそ、真の担任主導と言えるのではないか。

V 研究のまとめと今後の課題

1 まとめ

- (1) 手作り教材を工夫し、教材教具の提示の仕方を工夫したことは、外国語を通じて積極的にコミュニケーションしようとする児童の意欲を高めるのに効果的であった。学級の児童の様子を支援員に伝え、その実態に応じて活動や教材教具の工夫を提案していくことは外国語活動における学級担任の役割として重要である。
- (2) 1時間ごとの指導案があることで授業中の役割分担が明確になり、学級担任と外国語活動支援員の役割分担を明確にすることができた。短い時間で行う打ち合わせの中でも、役割分担を明確にすることで授業の流れを共通理解することができる。
- (3) 「英語学びノートDVD」の指導資料があったことで、学級担任が授業をスムーズに進行することができた。今後も授業計画を立てる際の拠り所としていくとよい。
- (4) 市内共通の教材として「英語学びノートDVD」が配布されているという環境を生かし、今後は各学校で毎時間の目標に合わせて視聴し、市内共通の教材として積極的に活用していくことで所沢市の外国語活動の基盤を築いていくことが大切である。

2 課題

- (1) 児童が外国語の音声や基本的表現に慣れ親しむために「英語学びノートDVD」を中心とする視聴覚教材の積極的活用を図り、各学校の年間指導計画に位置付ける。
- (2) 外国語活動支援員と児童の1対1のコミュニケーション場面を1時間の授業の中に増やし、コミュニケーションを図ろうとする児童の意欲をより一層高める。
- (3) 1時間の授業の中で活動に応じて学級担任が児童の活動を評価するための「チェックリスト」を単元ごとに作成し、単元全体で多面的な且つ具体的な評価方法を工夫する。
- (4) 学級担任が学年内で教材研究をする時間を月1～2回程度確保するとともに、支援員から活動の助言をもらいながら1単元分の計画を立てたり、授業の司会進行役を務めたりする経験を積み重ね、外国語活動の授業を学級担任主導ですすめていこうという意識を高める。